

# 第44期中間報告書

2022.4.1～2022.9.30

## 株主メモ

Shareholders Information

### 株主事務手続

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当支払株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告(当社ホームページに記載いたします) <a href="https://www.kyoritsugroup.co.jp/">https://www.kyoritsugroup.co.jp/</a> やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711(通話料無料) 受付時間：平日9:00～17:00
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

#### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### お知らせ ● 経営情報Monthly Reportについて

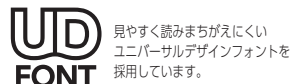
経営情報Monthly Reportは、株主の皆様へ、より当社をご理解いただくとともに、皆様のご意見を経営に反映させていただくことを目的として、毎月当社ホームページ上で掲示しています。ご参考にしていただきたく存じます。



〒101-8621 東京都千代田区外神田二丁目18番8号  
 TEL：03-5295-7777(代表) FAX：03-5295-2056  
 ホームページ <https://www.kyoritsugroup.co.jp/>



証券コード：9616



## 株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役社長

中村 幸治

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限や行動制限が緩和されるなど、社会経済活動が正常化に向かいつつあったものの、エネルギーコストの高騰や急激な為替変動など、依然として不安定な経済状況が続きました。

このような中、当社グループにおきましては、特にホテル事業においてゴールデンウィークや夏季シーズンに多くのお客様にご利用いただいたこともあり、稼働率・客室単価は新型コロナウイルス感染症発生前の2019年4～9月期の水準近くまで上昇するなど、回復トレンドが継続しました。また、引き続きグループ全事業所における感染拡大防止策の徹底(検温・消毒・光触媒・非接触対応など)を行うとともに、SDGsへの取り組みとして、過剰な消費の抑制、廃棄物の削減などにも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は83,093百万円(前年同期比22.7%増)、営業利益は3,945百万円(前年同期は5,619百万円の損失)、経常利益は3,780百万円(前年同期は5,230百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,292百万円(前年同期は4,076百万円の損失)となり、第2四半期連結累計期間としては3期ぶりに黒字回復いたしました。

今後の業績見通しにつきましては、社会経済活動が正常化に向かって動き出したこともあり、当第2四半期連結累計期間において通期利益予想を早期達成したため、2022年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想を売上高170,000百万円(前回発表予想174,000百万円)、営業利益5,500百万円(前回発表予想3,000百万円)、経常利益5,100百万円(前回発表予想2,200百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益2,800百万円(前回発表予想1,000百万円)、1株当たり当期純利益71円79銭(前回発表予想25円65銭)に修正しております。修正の内訳としましては、売上高につきましてはデベロップメント事業において案件の減少が見込まれることなどにより前回公表予想を若干下回るものの、利益につきましてはドリーミン事業の客室単価が予想を上回るペースで改善することが見込まれることなどにより前回公表予想を上回るものとしております。

足元では入国規制の緩和や全国旅行支援などの追い風もあり、引き続きグループ一丸となり更なる業績回復に努めてまいります。何卒、引き続きのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

## 事業の状況

Segment Review

安定的な成長を続ける寮事業に加え、ホテル事業においても、稼働率・客室単価が新型コロナウイルス感染症発生前の水準近くまで上昇するなど、回復トレンドが継続しております。グループ全事業所における感染拡大防止策の徹底を行うとともに、SDGsなどにも積極的に取り組み、第2四半期連結累計期間としては3期ぶりに黒字回復いたしました。

### 寮事業

売上高249億10百万円  
前年同期比 7.0%増

2022年4月に全国で合計19事業所、1,921室を新たに開業いたしました。コロナ禍における当社寮事業所の安心・安全性が改めてご評価いただけたことや、国内需要の取り込みに注力したことなどもあり、日本人学生が大幅に増加し期初稼働率は93.5%（前年と比べ1.4ポイント増）でのスタートとなりました。

留学生に関しましても入国規制の緩和などにより増加傾向が続き、2022年10月1日時点の契約室数は当期初から約1,000室純増し、概ね2019年同時期水準近くまで回復しております。



### ■ 学生寮事業

売上高134億41百万円

### ■ 社員寮事業

売上高69億79百万円

### ■ ドミール事業

売上高24億53百万円

### ■ 受託寮事業

売上高20億36百万円



### ホテル事業

売上高464億90百万円  
前年同期比 74.1%増

ドリーミーイン事業で5事業所、リゾート事業で2事業所をオープンいたしました。当期は2019年以来となる行動制限の無いゴールデンウィークや夏季シーズンを迎え、当社ホテルの特徴である温泉大浴場や本格的なサウナを始め、ご当地メニューを中心としたこだわりのお食事や夜鳴きそばなどのサービスが高く評価され多くのお客様にご利用いただいたことに加え、県民割やブロック割などの観光需要喚起策の効果もあり、大幅な増収、営業利益は黒字回復となりました。

なお、足元では入国者数上限規制の撤廃、個人外国人旅行者の入国解禁、全国旅行支援の開始など事業環境の回復・改善が進んでおり、今後も戦略的に開業を行うなど、事業基盤の強化に向けた体制作りに取り組んでまいります。

### ■ ドリーミーイン事業

売上高272億13百万円



天然温泉 だんだんの湯 御宿 野乃松江



天然温泉 あづみの湯 御宿 野乃松本

《関連グループ会社》(株)韓国共立メンテナンス

### ■ リゾート事業

売上高192億76百万円



塩の湯温泉 蓮月(2022年10月1日グランドオープン)

### 総合ビルマネジメント事業

売上高80億53百万円  
前年同期比 23.3%増

総合ビルマネジメント事業では、ホテルの清掃業務や建設工事案件が増加したことなどにより、増収増益となりました。

《関連グループ会社》(株)ビルネット・(株)セントラルビルワーク

### フーズ事業

売上高43億53百万円  
前年同期比 40.3%増

フーズ事業では、ホテルレストランの受託案件及び稼働が増加したことや外食店舗での営業制限が緩和されたことなどにより、増収、営業利益は黒字回復となりました。

《関連グループ会社》(株)共立フーズサービス・(株)共立フーズマネジメント  
(株)共立オアシス

### デベロップメント事業

売上高5億85百万円  
前年同期比 93.6%減

デベロップメント事業では、前年同期に実施があった不動産流動化の反動減及び建設工事案件が減少したことなどにより、減収減益となりました。

《関連グループ会社》(株)共立エステート

### その他事業

売上高77億85百万円  
前年同期比 2.9%増

その他事業は、シニアライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営事業)、PKP事業(自治体向け業務受託事業)、单身生活者支援事業、保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業となりますが、増収減益となりました。

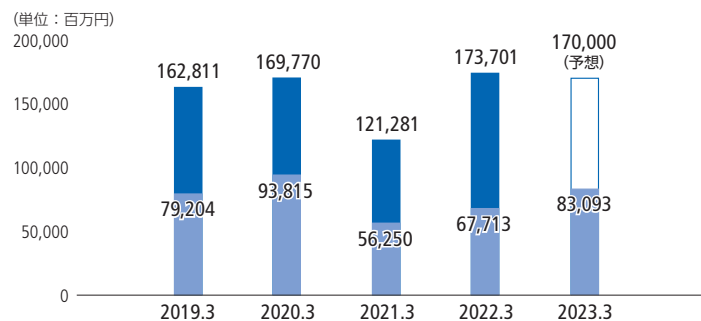
《関連グループ会社》(株)共立トラスト・(株)共立保険サービス  
(株)日本プレースメントセンター\*  
(株)共立ファイナンシャルサービス

\*2022年12月1日より(株)共立ソリューションズに社名を変更

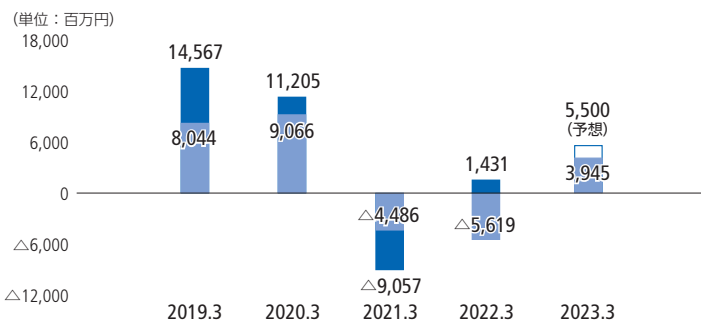
# 連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

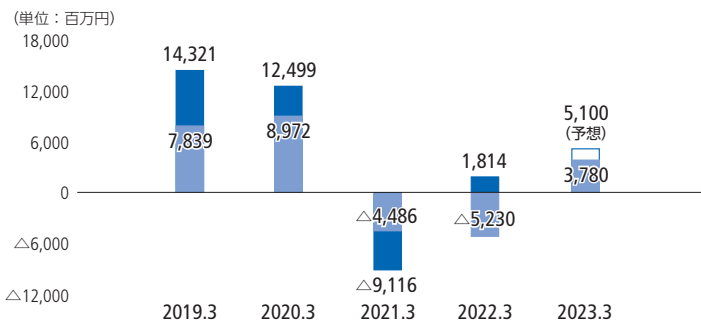
## 売上高



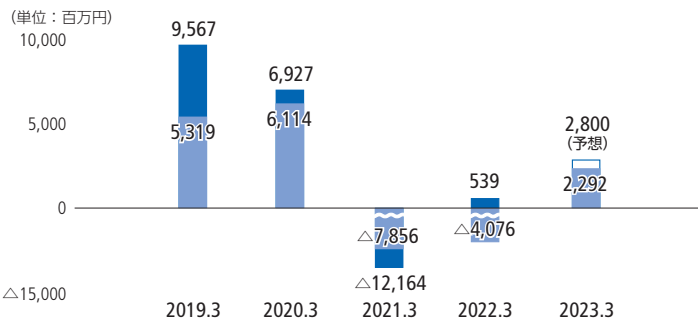
## 営業利益又は営業損失(△)



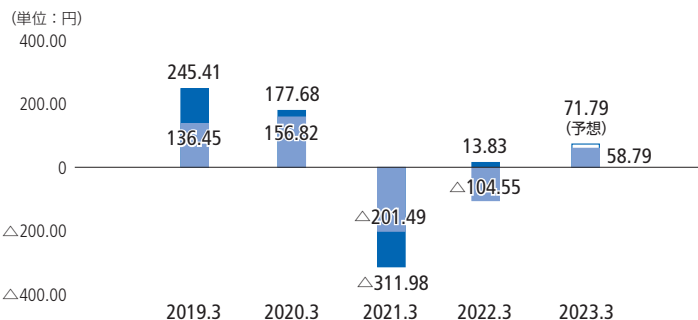
## 経常利益又は経常損失(△)



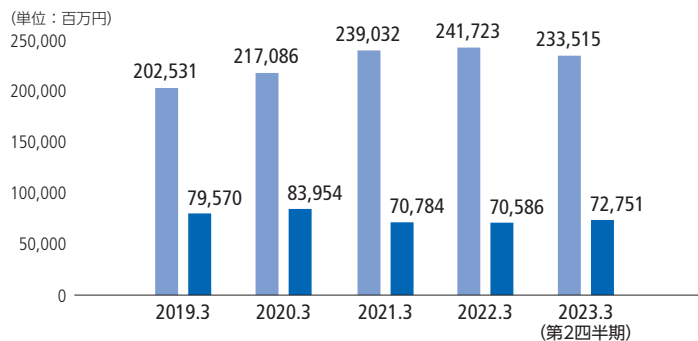
## 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)



## 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)



## 総資産 / 純資産



# 株式の状況 (2022年9月30日現在)

Stock Information

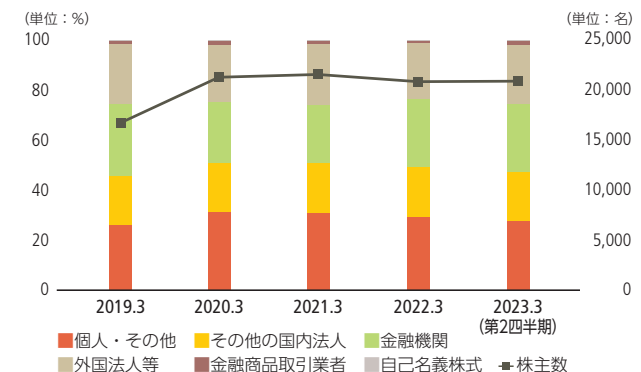
発行可能株式総数..... 59,000,000株  
 発行済株式総数..... 39,219,818株  
 株主数..... 20,900名

## 大株主

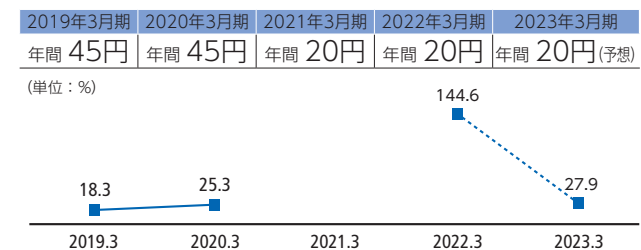
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	4,476	11.47
(株)マイルストーン	4,242	10.87
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,133	8.03
一般財団法人共立国際交流奨学財団	2,037	5.22
石塚 晴久	1,052	2.69
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND 常任代理人 (株)三菱UFJ銀行	983	2.52
(株)三井住友銀行	792	2.03
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505303 常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部	569	1.46
日本生命保険相互会社 常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行(株)	548	1.40
(株)三菱UFJ銀行	540	1.38

(注) 1. 持株比率は自己株式(219千株)を控除して計算しています。  
 2. 持株比率は小数点第三位以下を切り捨てて表示しています。

## 株主数・所有者別株式分布状況の推移グラフ



## 配当金と配当性向(連結)



※2021年3月期は最終損失のため、配当性向は空白表記としています。

# 連結財務諸表(要約)

Consolidated Financial Statements

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 2021年9月30日現在	当第2四半期 2022年9月30日現在	前期 2022年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	59,902	66,025	72,953
固定資産	170,022	167,035	168,264
有形固定資産	106,247	100,937	103,218
無形固定資産	3,450	4,233	3,384
投資その他の資産	60,324	61,865	61,660
繰延資産	551	453	505
資産合計	230,476	233,515	241,723
<b>負債の部</b>			
流動負債	43,732	43,983	49,433
固定負債	120,422	116,779	121,703
負債合計	164,154	160,763	171,137
<b>純資産の部</b>			
株主資本	66,791	72,729	70,807
資本金	7,964	7,964	7,964
資本剰余金	12,821	12,825	12,821
利益剰余金	46,364	52,286	50,383
自己株式	△358	△346	△361
その他の包括利益累計額	△470	21	△221
その他有価証券評価差額金	72	42	82
繰延ヘッジ損益	—	513	225
為替換算調整勘定	△565	△582	△583
退職給付に係る調整累計額	22	48	53
純資産合計	66,321	72,751	70,586
負債純資産合計	230,476	233,515	241,723

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

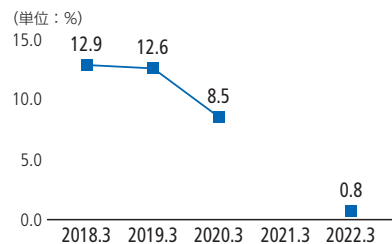
科目	前第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	67,713	83,093	173,701
売上原価	63,709	67,494	151,659
売上総利益	4,004	15,598	22,042
販売費及び一般管理費	9,623	11,653	20,610
営業利益又は営業損失(△)	△5,619	3,945	1,431
営業外収益	1,078	330	1,708
営業外費用	689	494	1,326
経常利益又は経常損失(△)	△5,230	3,780	1,814
特別利益	—	18	196
特別損失	154	204	611
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△5,384	3,594	1,399
法人税等	△1,308	1,302	860
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,076	2,292	539
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,076	2,292	539

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

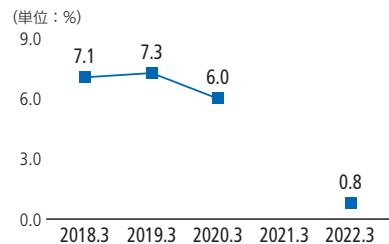
(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,255	△971	25,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,373	△4,530	△16,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,772	△4,867	4,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,862	△10,370	13,118
現金及び現金同等物の期首残高	24,212	37,565	24,212
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	—	234
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	13,349	27,195	37,565

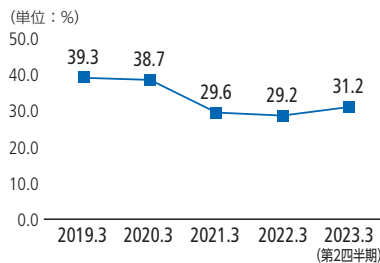
## ROE(自己資本当期純利益率)



## ROA(総資産経常利益率)



## 自己資本比率



※2021年3月期は最終損失のため、ROE及びROAは空白表記としています。

# 会社概要(2022年9月30日現在)

Corporate Data

商号 株式会社共立メンテナンス

本社所在地 東京都千代田区外神田二丁目18番8号

設立 1979年9月27日

資本金 79億6,498万6,119円

従業員数 5,770名(連結)

支店 札幌支店・仙台支店・名古屋支店・京都支店・  
関西支店・九州支店

## 国内事業所

	関東・ 甲信越	北海道	東北	東海・ 北陸	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	総計
学生寮・社員寮・ ドミール	330	24	25	31	66	7	30	513
受託寮	149	10	5	12	59	—	25	260
リゾート	12	3	2	12	4	3	2	38
ドームイン	22	12	10	12	12	12	8	88
シニア向け住宅	10	1	—	—	—	—	—	11
合計	523	50	42	67	141	22	65	910

※上記のほか、海外にビジネスホテルが1棟ございます。(※韓国共立メンテナンス)

## 役員(2022年9月30日現在)

代表取締役会長	石塚 晴久	社外取締役	久保 成人
代表取締役社長	中村 幸治	社外取締役	平田 恭信
常務取締役	相良 幸宏	社外取締役	早川 貴之
常務取締役	石井 正浩	社外取締役	小田 恵子
常務取締役	小原 康緒	取締役(監査等委員)	上田 卓味
常務取締役	高久 学	社外取締役(監査等委員)	宮城 利章
取締役	鈴木 真樹	社外取締役(監査等委員)	川島 時夫
取締役	君塚 良生		
取締役	横山 博		
取締役	百瀬 利恵		